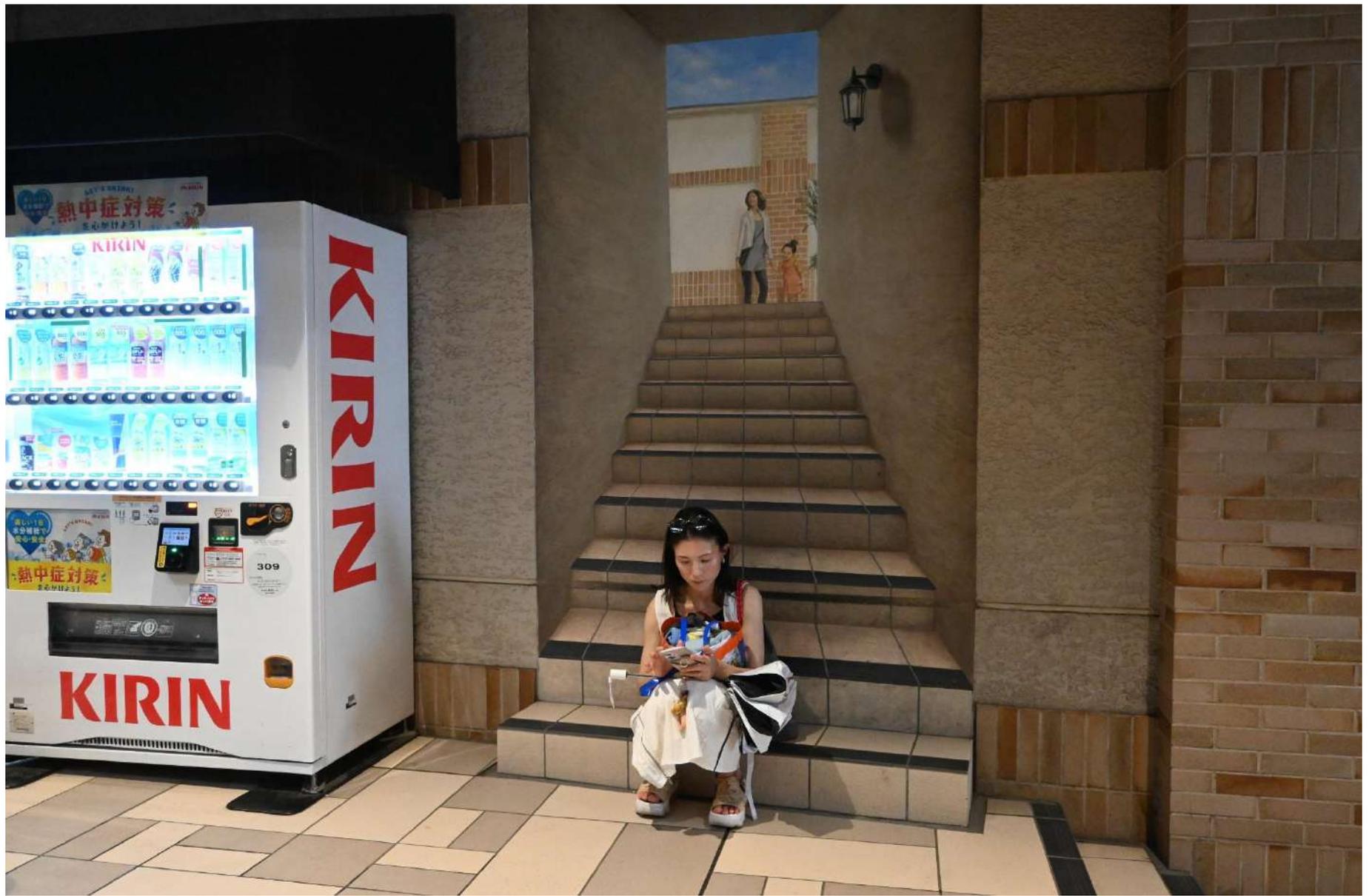


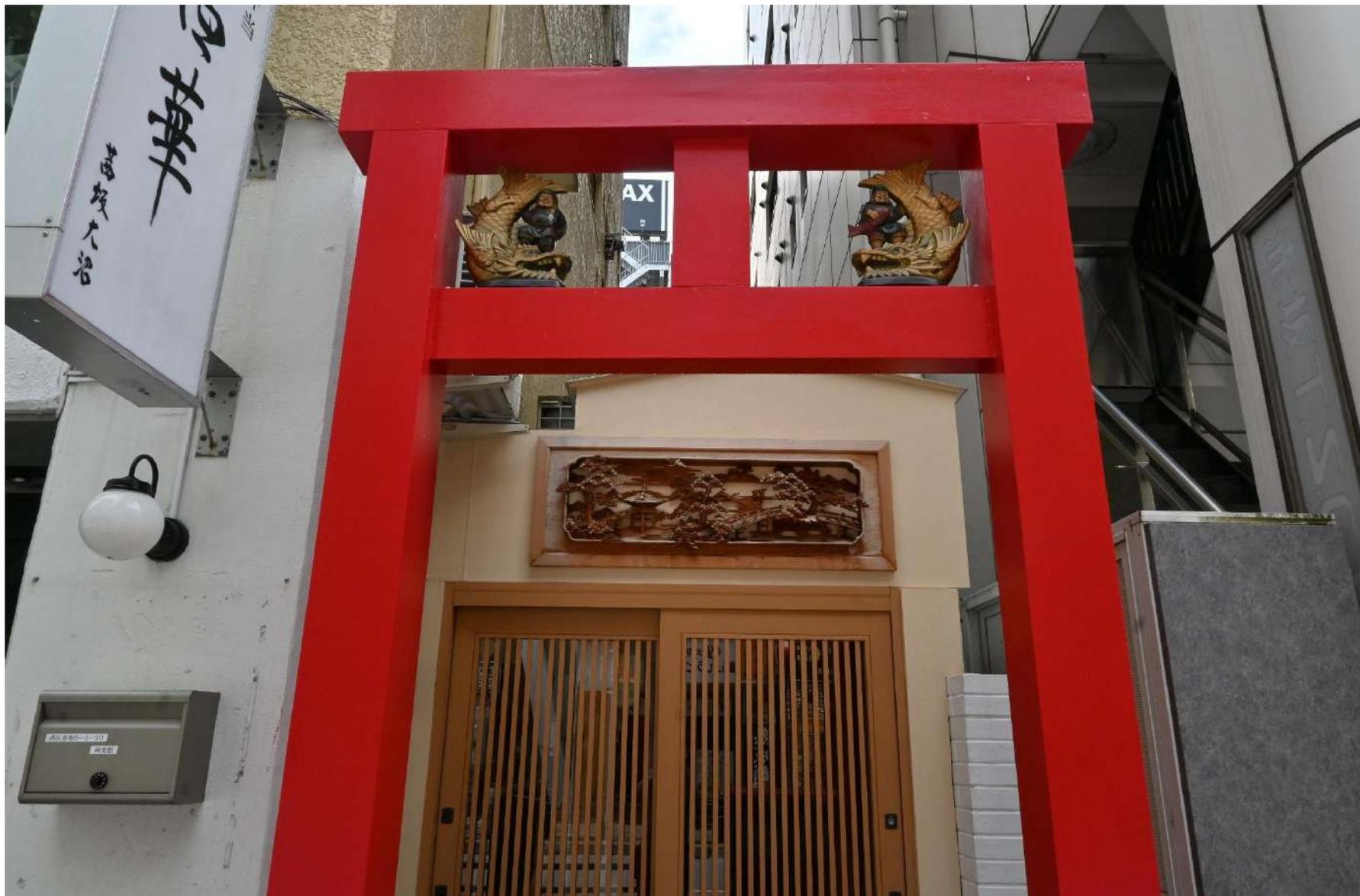
愚図愚図散歩146 日日是好日129

2025.10.01

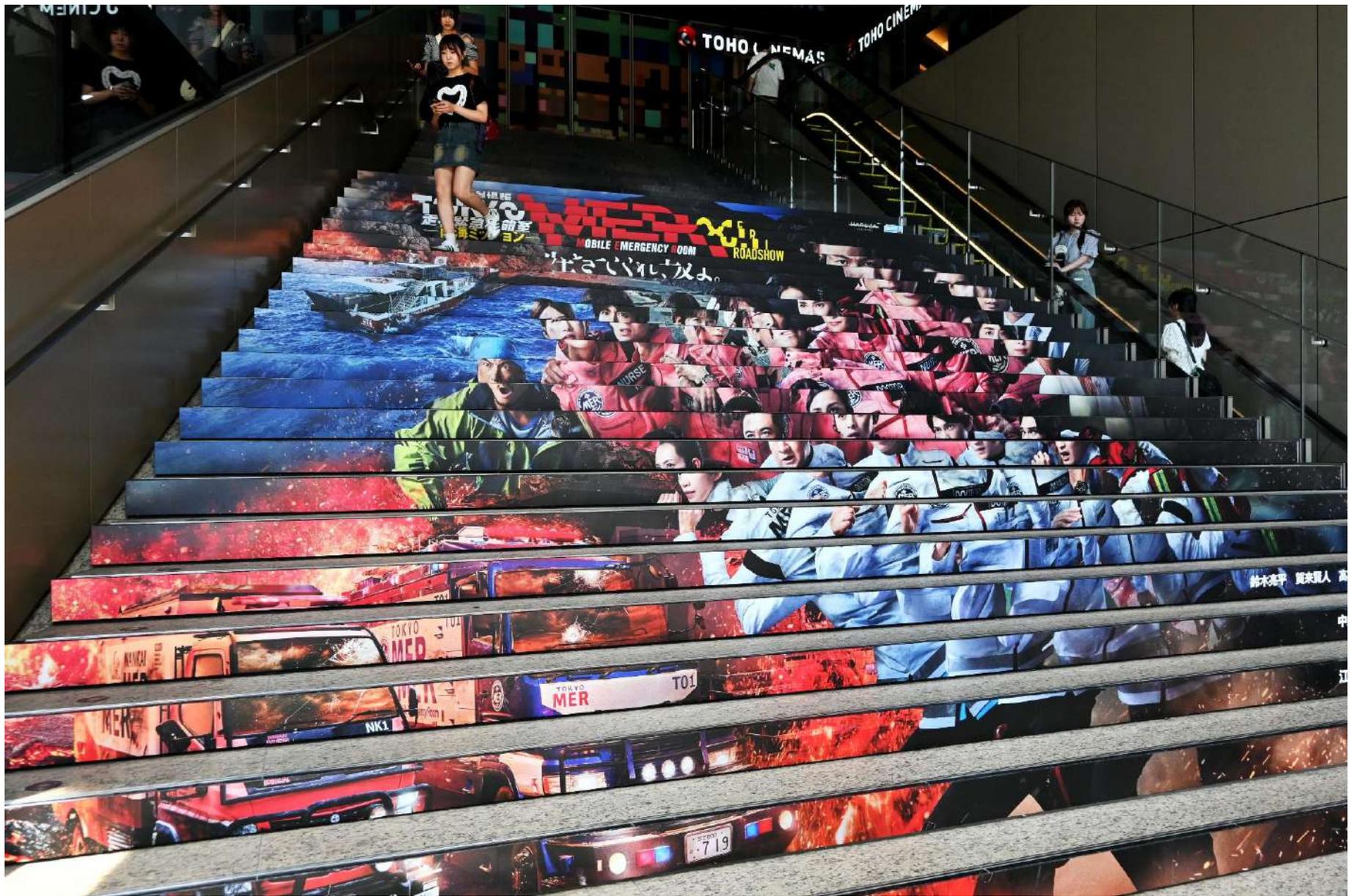
制作・撮影 浦野俊之



階段の下で携帯をいじっている女性がありますが、その後ろの階段は、平面の壁に描かれたイラストです。東京ドームシティのトリックアート通路で撮りました。



看板は出ていませんが、玄関入り口上には立派な彫り物があり、しかも赤い鳥居の様な雰囲気の間柱も立っています。神社なのか普通の人家なのか判別がつかず、近所にお住まいの方にお聞きしました。『飲み屋さんでしたが、開店して一年もたず、看板を下ろしてしまった様です。』とのことでした。(港区赤坂6-4)



分割写真の階段(TOHOシネマズ池袋)



上から見下ろして、地面にもデザインされた白線が描かれていることを知りました。(中池袋公園)



最近また新しいスタイルの建物がデザインされたようで、今までにない斬新な形の家が見受けられるようになりました。
(豊島区巢鴨4-9-4)



朝日新聞夕刊
1941 (昭和16) 年12月9日



朝日新聞朝刊
1941 (昭和16) 年12月9日

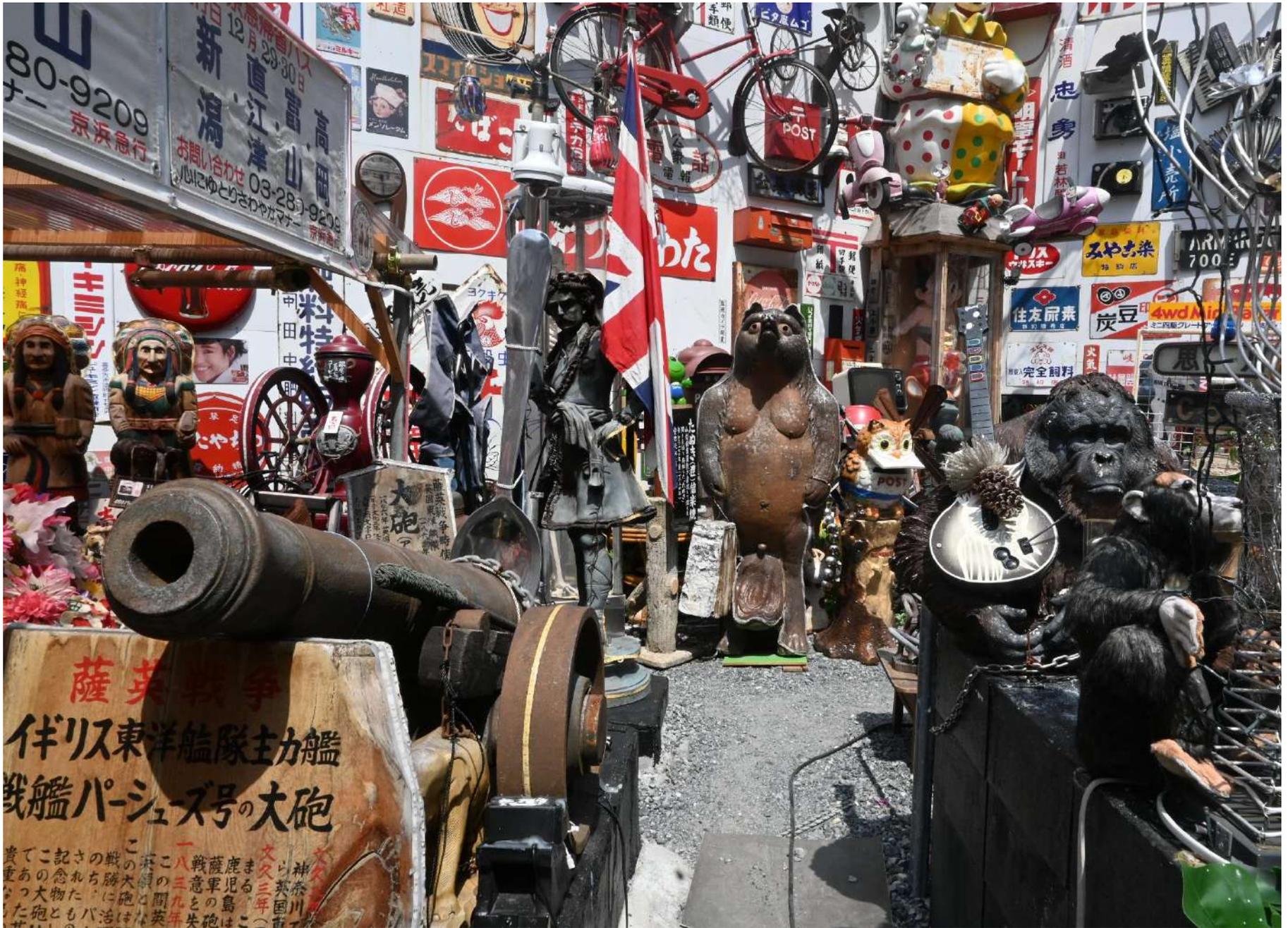
終戦80年 戦争を見つめなおそう 港区立郷土歴史館で夏休み企画展が開かれていました。展示室最初に昭和16年12月9日の朝日新聞の朝刊、夕刊の展示がありました。朝刊の見出し「米海軍に致命的大鐵槌 戦艦六隻轟沈大破す」夕刊の見出し、「西太平洋に戦闘開始 布哇米艦隊航空兵力を痛爆」と展示されていました。『この宣戦布告は、ハワイ真珠湾攻撃の直前に両国へ伝えるべきところ、日本側の手違いで真珠湾攻撃の後で伝わりました。コピペ』初めて当時の実物新聞を見ました。



インフォメーションの案内人はロボットになったのですね、子供の質問に答え、どう致しまして、さようならと対応しているのを見て驚きました。あと十年もすると、案内職員は皆ロボットになるに違いないと思いました。(大江戸線新宿西口駅)



久しぶりに熊野町交差点にやって来ました。前回よりさらに東京レトロな骨董品が増え華やかに成っていました。かつて全国で最も多く交通事故が発生し、「日本一危険」との汚名を着せられた「熊野交差点」だったが、骨董趣味の不動産業の方が、事故が減ってほしいと、釈迦像を中心に設置した骨董品の珍スポットであります。(板橋区熊野町11-4)





地主さんの屋敷なのでしょう、入り口正面に大きな信楽焼の丸八狸が飾られています。ご主人の趣味のようで、狸の足元にも小さなタヌキや鬼瓦が置かれ、広い庭をにぎやかに飾っています。(板橋区赤塚新町2-17)



鬼瓦の周りに河童や鼻の高い天狗もいるなど思いよく見ると、天狗に乳房があり、前を布で隠しています。横から見るとなんと頭にお皿らしきものがあるではありませんか、これは女性の河童ではないか！今迄、女性の河童像、画像を見た事ありません、86歳にして初めて女の河童像を観ました。



路地に入ると、丸八河童が居ました。狸と見間違えたかと眼をこすり見直してみますと、頭にはお皿、背中には甲羅を背負って緑の毛で全身覆われています。丸八河童は初めて観ましたが、お腹辺りは如何見ても狸です。(川口市鳩ヶ谷本町1-2-8)

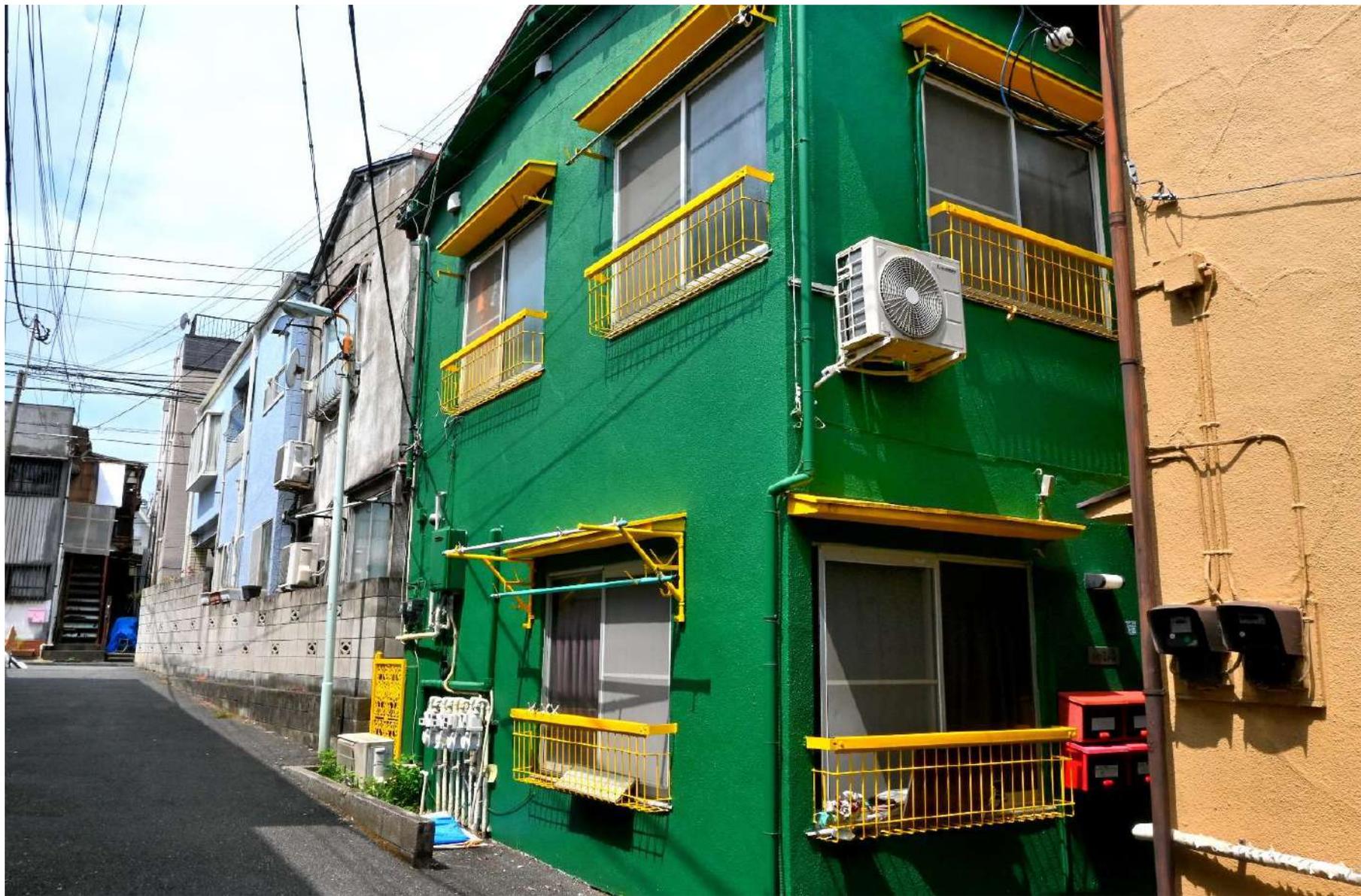


初めて出会った丸八狸のご婦人版。今迄何回かこの前を歩きましたが、気が付きませんでした。(千代田区神田神保町1-35)



近頃一番驚いた事。西武百貨店の屋上で涼しい風を受けようと、エレベーターに乗ると改装階が連なり、何時もの様に9階の庭園に続く階にとまると閉鎖の縄が張ってあり入れません。そう言えば表通りのシャッターが閉まり、以前の華やかさがありません。デパートの案内人に聞きますと、西武デパートの大部分はヨドバシHDに乗っ取られしまったとのこと、驚きました。現在建物は西武のものではないそうです。





普通の住宅街に最近ド派手な色の民家が建つようになりました。どのような考えで家の色を考えたのでしょうか。
(豊島区千早1-3-12)



鳩ヶ谷に赤丸ポストはいくつ残って居るか見てみようと思ひ振りに訪ねました。昔の旧御成り街道沿いに沢山あったはずのポストは残念ながら2基しか見ることが出来ませんでした。(川口市鳩ヶ谷本町1-2-8)



近付いて見ると、赤いペンキが褪せて、艶のない色に見えました。



道端の花壇にこの様な装飾品。



キラキラ橋商店街の裏路地で、妙なものに出会いました。まさになんだコレです。すぐ横に発掘調査を行って居ます。との掲示板が置かれていたので読むと、さらに疑問が沸きました。足型遺跡発掘調査に伴う工事と記されているのです。こんな足型発掘する訳がないと思いながらよく見ると、京島駅芸術祭出品の作品で、佐藤いちろう作のオブジェだそうです。(墨田区京島3-50-12)





人の住む緑の館。(墨田区京島3-47)

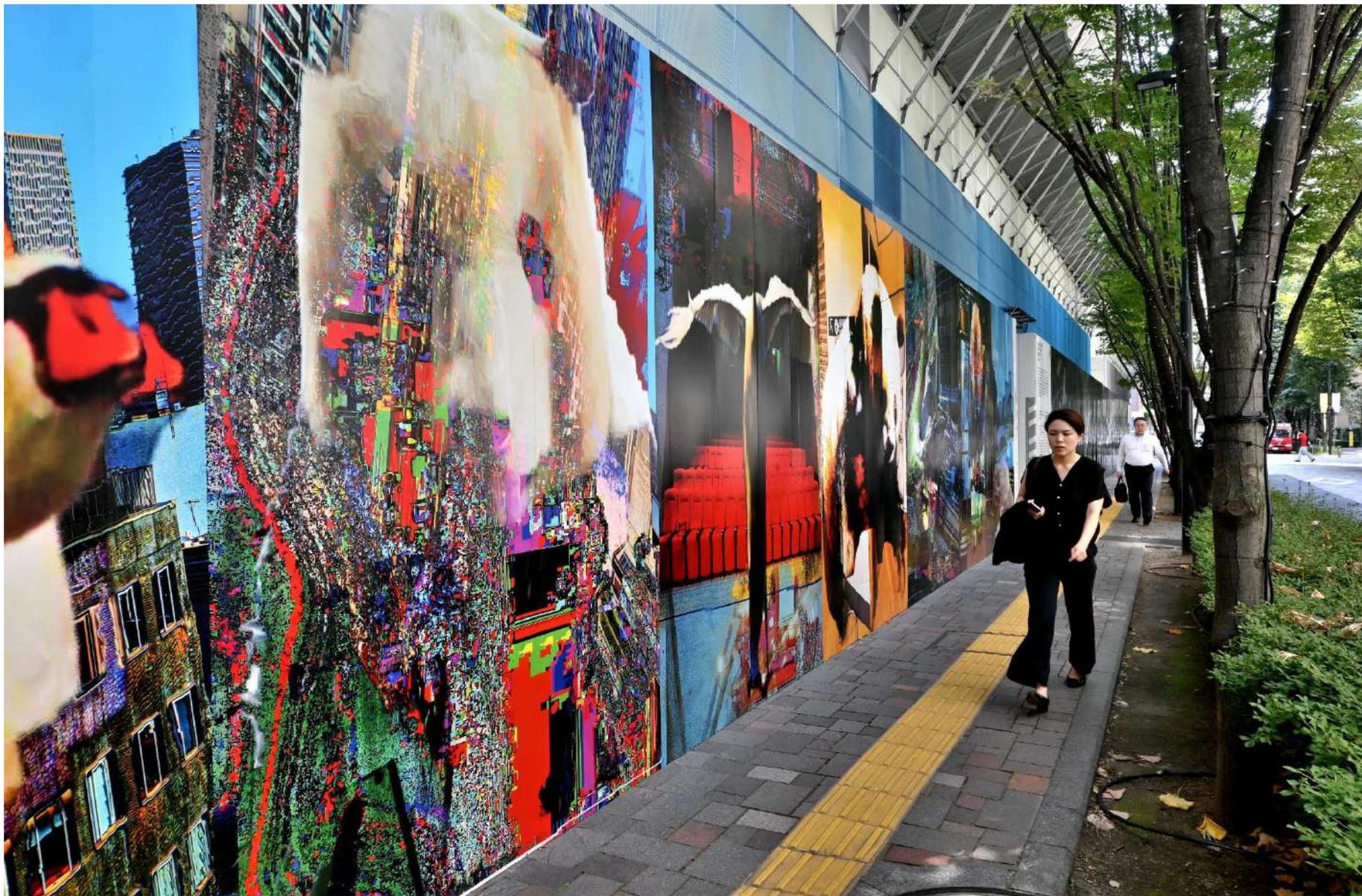


古い長屋の残る商店街の脇道に、新築家屋が眼に入りました。近くに住むご婦人に聞くと、商店街の長屋好きなパン屋さんが建てた一階は貸し出しのフリースペース。二階は、二間の長屋で「けん玉長屋」と呼ばれている建物ですと教えてもらいました。(墨田区京島3-48-5)





岩手県のアンテナショップ、『いわて銀河プラザ』のウィンドウに飾られていた大谷選手の顔シャツ。(中央区銀座5-15-1)



丸の内周辺は今大改装中で、特に丸の内仲通りを挟んで、両側に工事の壁が連なっています。きわめて前衛的な写真や画像の展示が素晴らしく、刺激的です。



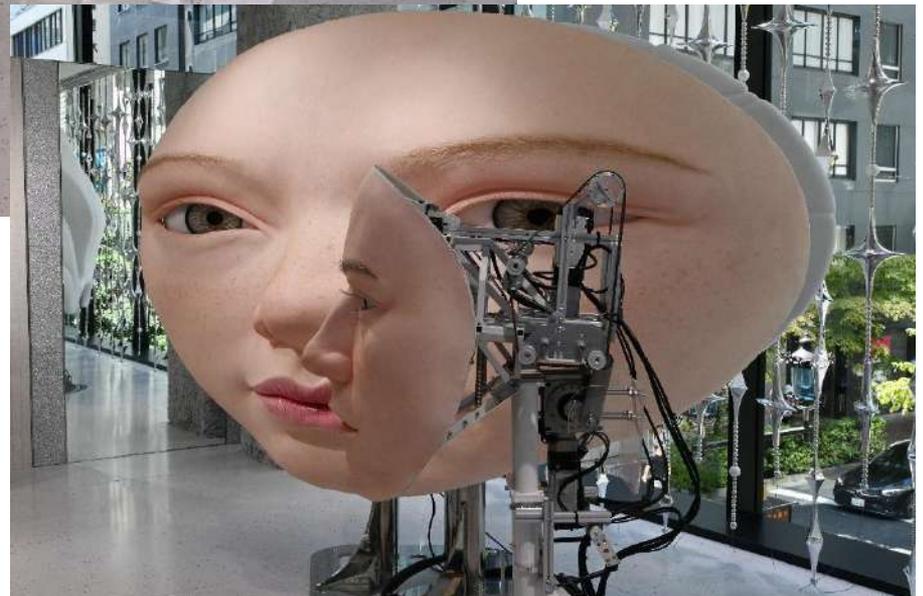
「GINZA SIX」で2024年4月から展示がスタートした中央吹き抜け空間の大規模インスタレーション「BIG CAT BANG」が9月7日最終章を迎える時が来たようです。寂しくもありますが、次はどのような作品が展示されるか楽しみでもあります。



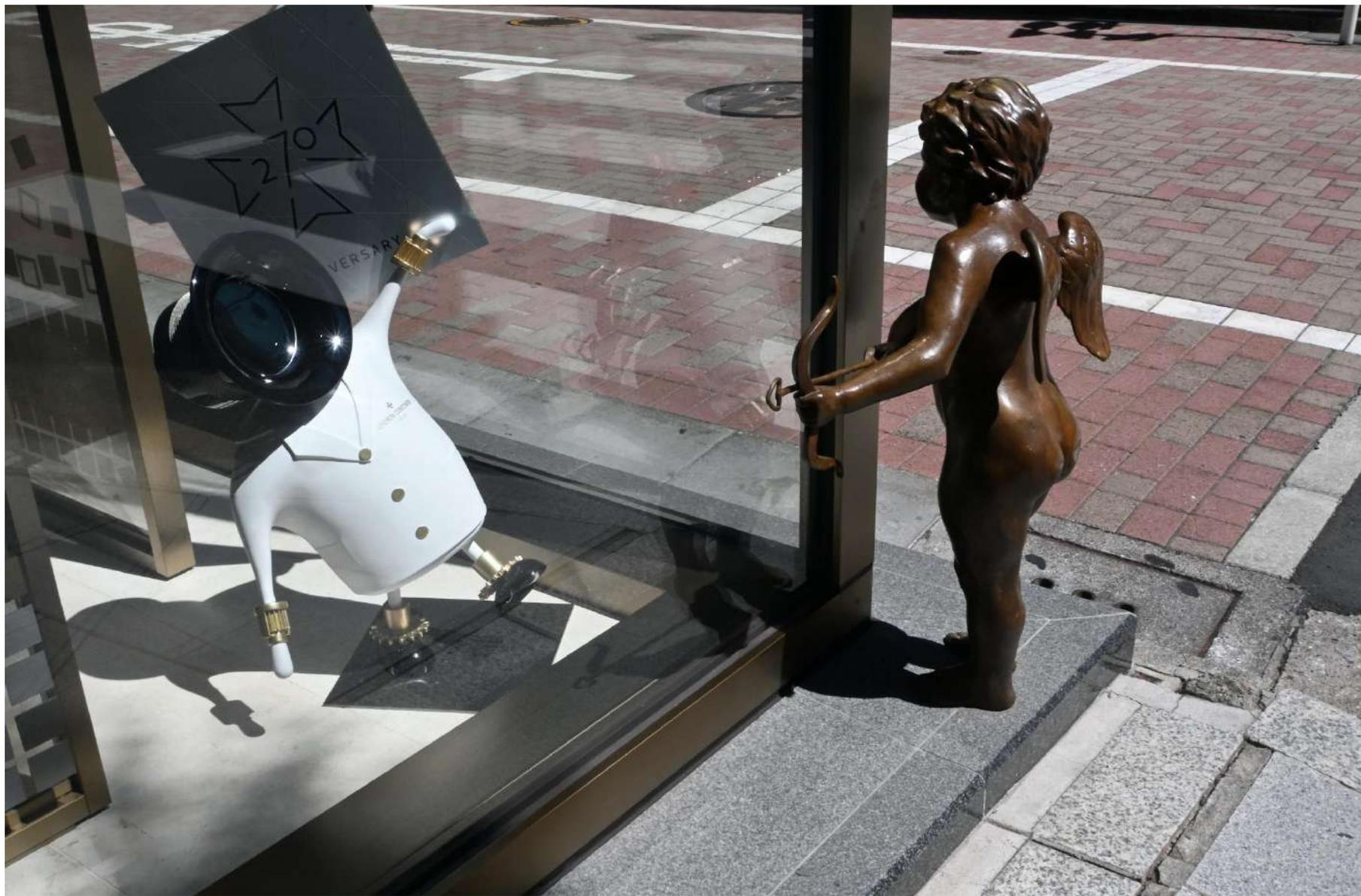
外から見ると店内に大きな男のリアルな裸像が見えます。銀座の街に異変が起こったのかと店内に入りました。背中で、ご婦人が韓国の有名な眼鏡店よと囁くのが聴こえました。メガネ店に男の裸とは何か関係があるのかと首をひねりながら入店です。この様にリアルな裸像は初めてで、面白いので、店内自由に撮影して廻りました。(GENTLE MONSTER)中央区銀座3-3-13



『2階には、非現実的なフォルムに変形された2体の「ジャイアント・ヘッドキネティックオブジェ」が設置されている。苦悩を湛えた表情、ゆっくりとまばたきするまぶた、そして互いを意識するかのよう動く瞳。その一つひとつの動きには、人間の思考や感情、他者との関係性といったテーマが込められており、来訪者に強烈な没入体験をもたらす。コピペ』



二階に動く顔が2体ありますから二階にどうぞと店員さんに促され上がり驚きました。とても美しい女性の顔がゆっくりと動き、眼も一緒に動く、不思議な魅力に引き込まれました。右下の写真は顔の後ろに動く機械がそのまま見えます。『銀座フラッグシップストアは、人間の内面世界をテーマにした空間演出が特徴だ。コピペ』とても不思議な魅力ある眼鏡店です。



やめて！ゆるして！ 射らないで！ お馴染み銀座のキューピットです。(中央区銀座4-3-9)



何だろこのセーターは、どの様にして着るのだろうと思って撮影しました。ISSEY MIYAKE GINZA の作品でした。



久しぶりの大雨の日の赤羽駅東口風景。



緑の館、日本BS放送本社(千代田区神田駿河台2-5)



周りを新築の高層建築で囲まれた日本家屋。(千代田区駿河台4-2)



造花の花壇、自然の花ではないので、少し不満はありますが、見た目きれい。(板橋区常盤台1-36-16)



9月半ばとは言え、まだまだ30℃代の気温が続きますが、倒木に赤いキノコが生え始めました。やはり秋になったのですね。



緑の館(渋谷区代々木4-18)



岸田劉生が描いた切通しの坂から代々木駅までの道の両側にプラタナスの並木が続いています。その並木に鉄パイプを啜えたしたたかともいえるプラタナスが散見出来ました。



